

中学生職場体験学習 えひめジョブチャレンジU-15事業 まつやまジョブチャレンジ 受け入れの手引き

松山市では、全ての中学校で望ましい勤労観、職業観を育成するため、平成31年度から5日間の職場体験学習を行います。

1 職場体験学習とは

職場体験学習とは、生徒が事業所などの職場で、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

2 本事業の目的

中学生が地域で5日間の職場体験学習を行うことで、地域の産業を具体的に学び、地元で働く魅力を感じることが、将来地元で就職したいと思う子どもたちの育成につながると考え、以下の3点を目的としています。

- ① 中学生段階において、充実した職場体験学習を実施し、生徒のコミュニケーション能力や忍耐力及び適切な勤労観や職業観を育む。
- ② 5日間の密度の濃い体験を行うことにより、地元産業や企業、農林水産業等のよさ、地元で働くことの魅力を実感させる。
- ③ 地域や企業等と連携して事業を実施し、「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成を図る。

3 5日間の職場体験学習について

松山市ではこれまで、多くの企業の皆さまにご協力をいただきながら2日間から3日間の職場体験を行ってきましたが、平成31年度から期間を5日間に拡大して実施し、職業生活、社会生活に必要な知識、技術・技能の習得への理解や関心をより高めていきたいと考えています。5日間の職場体験学習の実施については、学校によって運用形態が異なります。

- ① 原則、「5日連続同一事業所での職場体験学習」としてはありますが、各学校が事業所や地域の実態に応じ「5日連続の日程の中で複数の事業所で職場体験学習を行う」ことや「2日+3日や1日+3日+1日等、5日間の実施日を分散させて同一の事業所で職場体験学習を行う」「同じく実施日を分散させて複数の事業所で職場体験学習を行う」等の運用を行います。
- ② 実施日は、各学校が指定した期間の中で実施します。
- ③ 職場体験学習に参加する生徒は賠償責任保険、傷害保険に加入する予定になっています。

基本モデル

5日連続同一事業所

A社
5日

学校によって運用形態が異なります

5日連続複数事業所

A社 2日	B社 3日
----------	----------

より多くの事業所を理解

生徒の希望に沿った職種を選択

5日分散型

A社3日	土・日等	A社2日
A社3日		B社2日

繁忙期に合わせることでより充実した活動

職場体験学習実施の流れ

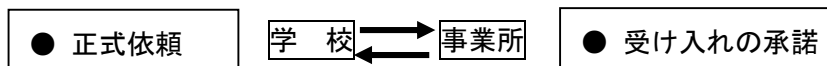
① 中学校から各事業所に職場体験の依頼があります。

(地域の経済団体等から事業所に依頼する場合があります)



- 学校から事業所に依頼文書を提出
- 事業所が受け入れの可否を検討
 - ・ 受け入れる場合の作業内容
 - ・ 受け入れ可能人数、日程

② 事業所から、中学校に受け入れ可否の連絡をしてください。 後日、学校から詳しい打ち合わせ等の連絡があります。

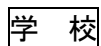


③ 事前打ち合わせを実施してください。



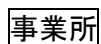
- 事前打合せの実施
 - ・ 受け入れ生徒が担当する仕事内容について
 - ・ 安全体制の確認
 - ・ 学校側からの依頼事項の確認
(写真撮影、学校への出退勤の連絡、事後指導確認等)
 - ・ 緊急時対応 (活動中の事故やけが等)
 - ・ 台風等の荒天時の対応
 - ・ 受け入れ生徒の事前訪問の日時の調整

④ 中学校は受け入れ生徒に対し、事前指導を実施します。 特に安全面や社会性・マナーを重点的に行います。



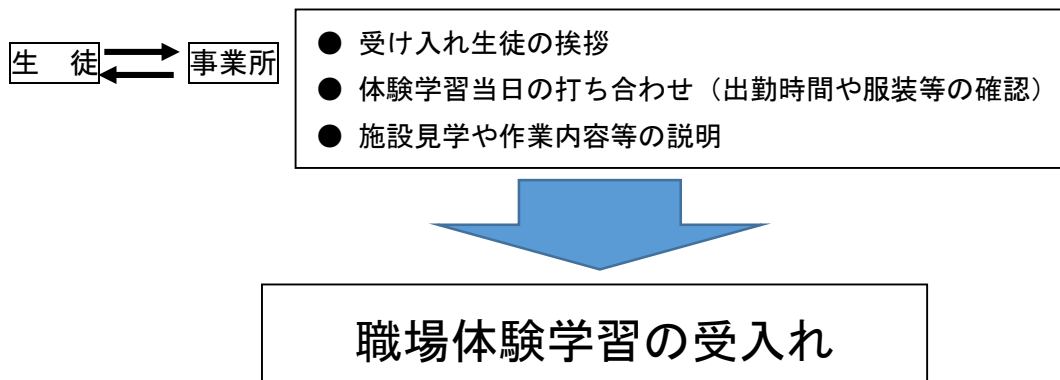
- 服装、態度、マナー、話し方指導
- 自己紹介等の事前指導
- 事業所の下見指導
- 安全指導

⑤ 受け入れ準備をお願いします。



- 生徒が入っていけない場所、守秘義務の高い場所の設定
- コンピューター等の重要機器の管理
- 社内受け入れ体制の確定と社内での周知 など

- ⑥ 生徒が事前訪問を行います。
許可をしていただければ、生徒が事前訪問を行います。
事業所内の施設見学や作業内容等の説明をお願いします。



- ⑦ 職場体験学習終了後、学校から事後報告会への参加、アンケート記入等の依頼があります。今後、事業所、学校双方にとって効果的な職場体験学習を実施していくためにも、可能な範囲でこれらの依頼への協力をお願いします。

職場体験学習の受け入れで、生徒に接する際のポイント

受け入れ側の 4つのポイント	良いときはほめ、 改善すべきときは 指導してください	社会的マナーや 礼儀の大切さを 教えてください	職業や働くことの 大切さを話して ください	自分の生き方や 学習の大切さ等に ついて話して ください

大人としての寛容な心と社会人としての厳しい目の両方から、
ご指導よろしく願いいたします。